

「ただひとりの神、

すべてを支配される父」

(一コリント8・5〜6)

一、ただひとりの神

コリントの召された人々たちに対してパウロは語っています。8章5節から6節前半です。〈なるほど、多くの神や、多くの主があるので、神々と呼ばれるものならば、天にも地にもありますが、私たちに、父なる唯一の神がおられるだけで、すべてのものはこの神から出ており、私たちもこの神のために存在しているのです。〉と。パウロはかつて熱烈なユダヤ教徒で、キリスト者(教会)を迫害していました。その頃、どのように考えていたのでしょうか。まず、「神は唯一である」と考えていました。それは、「キリスト者になってからも同じです。異なるのは、「唯一なる神はユダヤ人の神であって、自分たちだけが神を知り、異邦人は神を知らず、けがれている」と考えていたことです。けれどもキリストを知ったときに、それまでの信仰が間違っていたことに気づきました。そういうわけで、コリントの人々に対してパウロは、「あなたがたは偶像礼拝に陥っており、神を知らない人たちだ」と見えています。「私たちには、父なる唯一の神がおられるだけで、すべてのものはこの神から出ており、私たちもこの神

のために存在しているのです」と語っています。言い換えるなら、「あなたがたは知らなかったただけなのです。ただひとりの神を」となるわけです。これは、他人事ではありません。私たち教会員がノンクリスチャンに対して、「あなたがたは偶像礼拝の中に陥っており、神の光が届かない世界に生きている」と見るなら、ユダヤ教徒であった頃のパウロと同じです。キリストを知らず、したがって救われていない人たちは、神を知らないだけで、唯一なるお方はノンクリスチャンにとっても、その方が生まれる前から、そして生まれた後も、ただひとりの神です。

ニカイア信条(ニケア信条)を見てまいります。1行目、2行目をご覧ください。〈私たちは、ただひとりの神、すべてを支配される父、天と地と見えるものと見えないものすべての造り主を信じます。〉と書かれています。私たち教会員が「ただひとりの神」と告白するとき、まだ救われていない人たちにとつても「ただひとりの神」であることを忘れてはなりません。

二、すべてを支配される父

続いて「すべてを支配される父」です。元の言葉は「全能の父」です。「ただひとりの神が父である」とはどういう意味なのでしょう。それは、イエス・キリストの父という意味です。「イエス・

キリストの父」と聞いたら、「キリストは父なる神から生まれられたのですか。とすると、子なる神が存在しなかった時間があったのですね」と思う方が、出てくるかも知れません。そうすると、御子イエス・キリストは、神より劣った神の御姿に近いお方、となってしまうます。歴史においてはアレイオス派(アリュス派)がそのように受け止め、異端として斥けられました。聖書の証言はそうではありません。ヨハネの福音書は語っています。〈ヨハネ1・1〜2この方は、初めに神とともにおられた。すべてのものは、この方によって造られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもない。〉と、創世記1章の記述と重なるように書かれています。

「父」と告白されるのは、イエス・キリストの父なる神だからです。すなわち、関係性です。〈すべてを支配される父〉は、御子と初めから父と子の関係にあります。なぜなら、神は初めから父・子・聖霊なる神だからです。それを明らかにされたのが、御子イエス・キリストです。

三、ただひとりの救い主

コリント人への手紙に戻ります。8章6節の途中からです。〈また、唯一の主なるイエス・キリストがおられるだけで、すべてのものはこの主によって存在し、私たちもこの主によって存在するの

です。〉とあります。イエス・キリストが「父」と呼ばれた神は、ユダヤ人の神のみならず、あるいは教会員だけの神でもなく、すべての人にとつてのただひとりの神です。私たちは神を独占できません。当然です。

では、教会外の方が「神さま」と呼びかける場合の神と、私たちが「神さま」と呼びかける神は、同じお方でしょうか。いいえ、違います。教会外の方にとつても、イエス・キリストが父と呼ばれかけられた「父・子・聖霊なる神」が神なれば神に通じません。ヨハネの福音書が証言しています。〈ヨハネ14・6イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。〉と。

そういうわけで、キリスト信仰のことが良く分からずとも、したがって三位一体なる神のことが良く分からずとも、イエス・キリストが神と私たちとの架け橋になってくださると信じて、「イエス・キリストの父なる神さま」と呼びかけるなら、神はその方と通じられます。それをキリスト信仰と言います。

神であり、人となられたイエス・キリストの内に、私たちが思っていたより、想像していたより、はるかに大きな恵みと祝福がある、と知っていただきたいです。